

四日市の城

あなたの町に城跡はありますか



れにくい所が多かったようです。その一方で赤堀城などのように平地に建てられた城もありますが、それらはどちらかと言えば住居としての用途が高かったようです。赤堀城の発掘調査では将棋の駒や生活用品などが発掘されています。当時の人々の生活をうかがい知ることができこれらの史料は、現在市立博物館に展示されています。

織田信長に攻められた北伊勢の豪族達

しばらく続いた北伊勢の豪族達の勢力争いにも変化が訪れます。一五六七年、尾張（今の愛知県）の武将、織田信長が天下統一に動き出したのです。そして京都を目指す信長はその足場を固めるため、後に北伊勢侵攻と呼ばれる進軍を開始し、この地域に攻めてきました。海にも面し、京都や伊勢など様々な地域へとつながる道があったこの地は、戦路上重要な場所だったようです。

そしてこの時、多くの豪族は織田家の部下になりましたが、中には最後まで戦い、滅ばされた豪族もありました。

その後もしばらく赤堀城や浜田城は侵攻の拠点として使われました。しかし、この北伊勢侵攻を契機に多くの城が消えていったようです。

戦国の城跡も今は市民の憩いの場



浜田城



水沢城



萱生城

自然の崖と谷で攻めにくい

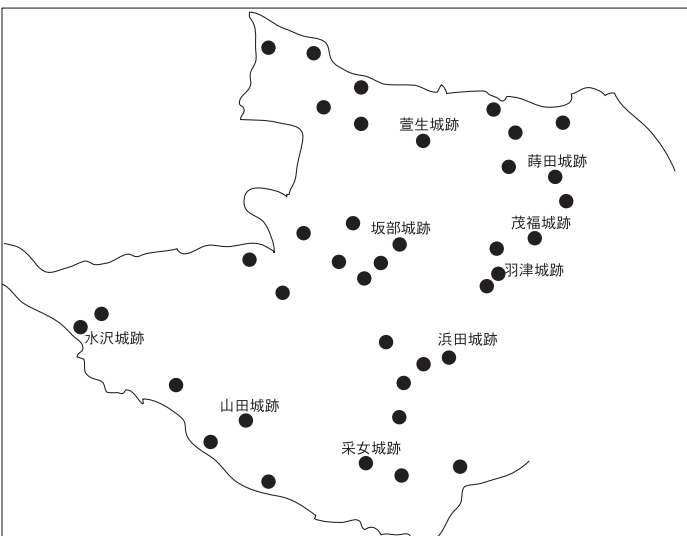
この時代の城は、周囲に「空堀」という深い溝をめぐらし、石垣ではなく土を盛った「土塁」で建物の周囲を囲み、一階建てが基本で質素なものでした。建てられた場所は小高い山の上や丘の上など周囲が見渡せ、攻めら

市内に三十八カ所もある城跡！

『四日市市史』によると、現在分かっているだけで市内に三十八カ所の城があったといえます。中には戦国時代以前に建てられたものもありますが、この数は他の地域と比べてやはり多いといえるでしょう。

十六世紀中ごろ、この辺りは通称「北勢四十八家」と呼ばれる小規模、中規模の豪族が林立していました。中

四日市の城跡分布



城跡探訪 采女城跡

内部川の北、内部東小学校の西側の山に采女城跡があります。規模、保存の状態では市内の城跡の中で一、二を争うものと思われま

城の形態としては典型的な山城であり、地元の保存会による草刈りなど定期的に整備されています。しかし、今なお険しい山道が山上まで続き、急な坂を張られたロープなどを使って登る所もあり、ちょっとした探検気分が味わえそうです。城の遺構としては(1)空堀の底へと続く登山道(2)井戸跡も残り、一番大きな建物があったとされる山頂の広場Aとその周囲を取り囲む形の土塁(3)広場Aから広場Bへと続く間に空堀跡(4)広場Bから広場Cの間にも、空堀跡と思われる谷間が残っており、采女城が強固なつくりの城であったことがわかります。

采女城跡をはじめとして、当時の様子が多く残っているのは、まさに山林という地形に守られてきたといっていでしょう。そして近年、保存会の人たちによって、これらの歴史的な財産を残し、伝えていこうという動きも高まっています。



采女城跡、見取り図

見学できる城跡

城館名	所在地	遺構	問合せ・TEL
萱生城	萱生町字城山(晩字園)	井戸跡	晩学園(事前連絡要) 二七―三三四五
蒔田城	蒔田町(長明寺)	堀跡、土塁跡	四日市子どもセンター 五四―八三三六 問い合わせ時間 木・金曜日 午後一時～四時三十分
茂福城	茂福町字里ノ内	主郭の一部	羽津地区市民センター 三一―四四六五
羽津城	羽津町字城山(羽津城山公園)	土塁跡	三重地区市民センター 三一―三三七六
坂部城	西坂部町字城山(城山公園)	土塁跡	中部地区市民センター 五四―〇三三六
浜田城	浜田町字堀ノ内(鶴の森公園)	土塁、堀跡	小山田地区市民センター 二八―一〇〇一
山田城	山田町字古ヶ原(八幡社跡)	土塁跡、空堀跡	内部地区市民センター 四七―二二二九
采女城	采女町字北山	井戸、土塁、空堀	水沢地区市民センター 一九―二〇〇一
水沢城	水沢町東条(常願寺)	土塁、堀跡	

跡：一部残っているか名残りがあ

見学する時の注意

- 城跡はみんなの宝物です。傷つけたりしないよう見学しましょう。
- 崖や深い井戸などがあったり、草の深い所もあります。危険な場所は避け、必ず大人と一緒に行きましょう。
- 蚊、蜂、蛇(マムシなど)がいます。服装は長袖、長ズボン、底の厚い靴、帽子など、歩く時も注意してください。

参考文献

- 「四日市市史第三巻史料編考古II」
- 「四日市市史第十六巻通史編古代中世」
- 「信長と伊勢・伊賀」横山高治著

特集内容については取材、文献などを参考に編集部が解釈し記事にしました。事実と違う所があればお知らせください。(編集部)